

本書について

本書はD32XD/D16XD System Version 1.0からの新機能、改善点等について説明します。
「D32XD/D16XD取扱説明書」の各項目に従って説明しますので、「D32XD/D16XD取扱説明書」と合わせてお読みください。

本書の記述について

本書は「D32XD/D16XD取扱説明書」のp.iv「本書の記述について」と同様に記述しています。
また、それ以外の表記については以下の通りです。

(取説: p.) : 「D32XD/D16XD取扱説明書」の参照ページを表示します。

バージョン・アップについて

システムのバージョン・アップについては、取扱説明書に記載されている「システムのバージョン・アップ」(取説: p.95)をお読みください。

追加機能

MixerSetUp

MixerSetUpでは、ミキサーの現在の設定を保存したり、保存したミキサーの設定を呼び出したりすることができます。

よく使うミキサーの設定を保存しておいて、新たにソングを作成するときに呼び出したり、ミキサーの設定を他のソングにコピーしたい場合などに使用します。

保存する設定は、ミキサー・セットアップ・プログラムと呼び、20個持つことができます。

プログラムには、ソングで保持している全てのミキサー・パラメーターが含まれます。また、ソングで保持していないアナログ・コンプレッサーのデータも含まれます。

保存したミキサー・セットアップ・プログラムは、“ UserData ”の“ Mixer SetUp Data ”として、バックアップ/リストアップすることができます(取説: p.82)。

ミキサー・セットアップに含まれるパラメーターは次のとおりです。

- ・ Channel Assign, Source Select(CD、またはS/P DIF)、Sub Mixer, AdatOutのアサイン
- ・ Pair, Group(D32XDのみ)
- ・ Fader, Pan, Play/Rec EQ
- ・ ATT, CH ON, Phase, AUX/EFF Send, Rec Send
- ・ エフェクト(エディット中のパラメータを含む全ての設定)
- ・ Master Fader, Master EQ, Send Outレベル, SendのSelect All
- ・ Solo, Monitor, Cue, リズム出力アサイン、リズム音量
- ・ Analog Compressor

ミキサー・セットアップ画面への入り方

本体トップ・パネルのMIXERキーを押し、ページ・ジャンプ・メニュー画面を表示します(取説: p.99)。

MIXER SET UPボタンを押してミキサー・セットアップ画面に入ります。



設定(ミキサー・セットアップ)を保存する

現在のミキサー設定をミキサー・セットアップ・プログラムとして保存します。

⚠ ソングの再生中は保存できません。

保存したいミキサーの状態に設定にします。

MIXER、“ MIXER SET UP ”、“ MixerSetUp ”タブ・ページを表示します。



リストから保存(または上書き)先のプログラムを押して(反転表示)選びます。

Storeボタンを押し、Store Programダイアログを表示します。現在セルに表示されているプログラム番号以外に保存するときは、セルを押し、反転させてからバリュール・ダイヤル(または+、-キー)で選択することができます。



プログラム名を付けたり、変更する場合は、Renameボタンを押してRenameダイアログで行います。

保存を実行します。

Yesボタンを押して保存を実行します。

保存を止めるときはNoボタンを押してください。

設定(ミキサー・セットアップ)を呼び出す

保存してあるミキサー・セットアップ・プログラムを呼び出します。

🔊 ソングの再生中は呼び出しできません。

MIXER、“MIXER SET UP”、“MixerSetUp”タブ・ページを表示します。

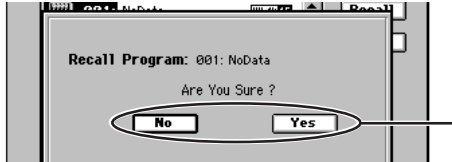
リストから呼び出すプログラムを押して(反転表示)選びます。

Recallボタンを押し、Recall Programダイアログを表示します。

呼び出しを実行します。

Yesボタンを押して呼び出しを実行します。

呼び出しを止めるときはNoボタンを押してください。



🔊 44.1kHz及び48kHzのソングで保存したプログラムは44.1kHz、48kHzのどちらのソングでも呼び出しできますが、96kHzのソングで保存したプログラムを呼び出すことはできません。
96kHzのソングで保存したプログラムは、96kHzのソングで呼び出してください。

note 工場出荷時には、1から20まで“ NoData ”になっています。このデータを呼び出した場合には、ミキサーは初期化(NewSong作成)時と同じ設定になります。

追加仕様

トップ・パネルのキー

MIXERキー (取説: p.10、99)

MIXERキーを押すと、ページ・ジャンプ・メニュー画面を表示します。もう一度MIXERキーを押すと、ページ・ジャンプ・メニュー内で最後に選んでいたページの表示に切り替わります。さらに、もう一度MIXERキーを押すとページ・ジャンプ・メニュー画面に戻ります。このように、MIXERキーを押すたびに、ページ画面、ページ・ジャンプ・メニュー画面と交互に切り替わります。

CDキー (取説: p.10、122)

CDキーを押すと、ページ・ジャンプ・メニュー画面を表示します。もう一度CDキーを押すと、ページ・ジャンプ・メニュー内で最後に選んでいたページの表示に切り替わります。さらに、もう一度CDキーを押すとページ・ジャンプ・メニュー画面に戻ります。このように、CDキーを押すたびに、ページ画面、ページ・ジャンプ・メニュー画面と交互に切り替わります。

UNDOキー (取説: p.10)

UNDOキーを押すと、“Undo/Redo”タブ・ページを表示します。もう一度UNDOキーを押すと、キーを押す前に選んでいたページに戻ります。

SCRUBキー (取説: p.11、40、148)

SCRUBキーを押すと、“Scrub”ページを表示します。もう一度SCRUBキーを押すと、キーを押す前に選んでいたページに戻ります。

SCRUB (取説: p.40、p.148)

“Scrub”ページを表示しているときでも、他のページと同じように、LOC1~LOC6キー、MARK JUMP√、▶キーやカウンターを使ったロケーションの移動(取説: p.38)ができます。またSTOPキーとMARK JUMP√、▶キーを組み合わせたロケーションの移動(取説: p.151)もできます。

カウンターによるロケーションの移動をした後で、スクラブ動作に戻すときは、波形ウィンドウやカウンター以外のボタンを押すか、カーソルキー▼を押します。

メッセージの追加 (取説: p.170)

Trigger recording is not available for the master track.

MASTER TRACK STATUSキーをRECに設定しているときには、トリガー録音ができません。